

## 第3回フォローアップ講習会（介護）

### テーマ 「高齢者とのコミュニケーション」

平成28年9月14日(水)13時より提供会員さんを対象にした第3回フォローアップ講習会を開催しました。

今回は、東雲短期大学生活科学学科 介護福祉専攻の川中康子先生をお招きしてお話とワークショップを交えて‘コミュニケーション’とは何かを学びました。講習会には、川中先生のゼミの学生さん4名が参加してくださいました。

### 講習の様子



東雲短期大学

川中 康子先生



まず、最初にペアを組んで‘伝達ゲーム’をしました。

- ・2人1組になって、1人が送り手、もう1人が受け手になります。
- ・送り手は、「図」を見てどのような図かを受け手に伝えます。
- ・受け手は、説明を聞き、想像して「聞き取り図」を白紙の紙に描きます。
- ・送り手と受け手で「図」と「聞き取り図」を見比べます。

最初送り手の人は、言葉だけで伝えようとしていたのですが、だんだんジェスチャーを加わり、声も大きくなっていました。受け手の人も前傾姿勢で必死に聞いていました。



伝達ゲームから、他人と思う事が違う、正確に言葉で伝えることの難しさを感じました。‘コミュニケーション’には、ジェスチャーやうなずきが重要なツールになるということもわかりました。

「久兵衛音頭」に合わせて学生さんと一緒に「きゅうべえ体操」をしました。  
上半身の曲げ伸ばしや下半身の筋力維持、リズムよく身体を動かして頭を使うことで  
認知症予防にもなるそうです。



後半は、グループに分かれて話し合いをしました。グループに1名学生さんが参加してくれました。

日頃の援助活動における悩みや、ご自身の親御さんの介護の経験、学生さんの実習中の話等、たくさんの意見が出ました。各グループごとの解決策を発表しました。

最後に、川中先生から「より良い人間関係を保つための留意点」を教えてくださいました。親密さを相互理解と錯覚しないこと・・・バランスを保ち、適切な心の距離感を持つことが大切だということです。



講習を終えて

- ・「より良い人間関係を保つための留意点」は特にここに響きました。
- ・一層気を引き締めて援助活動に努めようと思いました。
- ・ゼミの学生さんや若い提供会員さんとのグループワークは、多様な話が聞ける貴重な場となりました。
- ・「きゅうべえ体操」は、夢中になってしていました。援助活動にも活かしてみようと思います。



次回は、10月6日(木)9:30より第4回フォローアップ講習会(育児)

「特別支援学級の子どもたちとの交流会」の開催を予定しています。